

臨床化学研修会報告書  
生涯教育研修会報告書  
学発番号 第 12-031 号

平成 24 年 10 月 2 日報告  
報告者：後藤 直樹  
所属：京都保健衛生専門学校  
連絡先：075-801-2571

主題：臨床検査分野 研修会  
主題 1：「麻疹・風疹について」  
講師 1：小林 正樹 氏  
主題 2：「梅毒抗体検査の基礎」  
講師 2：中岡 啓一 氏

日時：平成 24 年 9 月 25 日（火） 18:30～20:30  
場所：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室  
分類：臨床化学部門 4 検体検査 52 20 点  
全体参加人数：9 人  
京臨技会員参加人数：9 人  
他府県会員参加人数：0 人  
学生参加者：0 人  
仮会員参加人数：0 人  
非会員参加人数：0 人

以下、講演内容など

#### 主題 1 「麻疹・風疹について」

講師にシスメックス株式会社の小林正樹氏に来ていただきお話いただいた。風疹患者は調査が始まった 2008 年以降、増加の一途である。特に妊娠初期の女性が感染すると、胎児に循環器疾患、難聴といった障害を発症する危険があることもわかっている。麻疹に感染した場合でも、麻疹は感染力が強いため周りへの感染拡大の可能性もある。また、潜伏期は 10～12 日であるが、これより数日前よりまわりへの感染力がみられることもあり注意が必要であること。症状は発熱とともに咳、鼻汁がみられ、発熱は二峰性となることが多い。あと、検査についても説明していただいた。風疹についても同じように、概説、症状、検査について説明していただいた。

## 主題 2 「梅毒抗体検査の基礎」

50 分

講師に極東製薬工業株式会社の中岡啓一 氏に来ていただきお話いただいた。梅毒は過去の病気のようにも思われているが、現在でも増減はあるものの、緩やかな増加となっている。今回は梅毒の感染から症状、梅毒血清反応（STS）、TPHA などの検査の特徴、治療などについて説明していただいた。その他の STD (性感染症) の関連についても説明いただいた。